

とうほうだい 授業だより (4年 算数)

今日の1時間目、4年生の1クラスを訪れると、児童たちが算数の授業を受けていました。単元は、『四角形のせいしつを調べて仲間分けしよう』で、全16時間。そのうち、本時は、「平行四辺形の定義を理解する」をねらいとした授業でした。

授業の様子(児童の様子)を見ていて、「いいな」と感じたがいくつかありました。そのうち3つを紹介します。図形の学習は、技能習得が重視される学習ですが、①全児童が集中して、先生の説明や指示を聴いていた。②定規を正しく使い、又、同色の色鉛筆で平行な直線を分かりやすく記すなどして、児童がていねいにノートを仕上げている。③「お助け」でクラスに入っていた先生が、机間巡視をスピーディーにこまめに行い、児童の学習理解をサポートしてくださっていた。

児童の『知りたい』・『できるようになりたい』という学習に対する意欲が教室にほどよい緊張感とともに満ちていました……。

